

2007年1月1日～2017年12月31日の間に川崎医科大学附属病院  
で肺扁平上皮癌と診断され、手術を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：肺扁平上皮癌における腫瘍存在位置による微小免疫腫瘍環境の検討

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2007年4月1日～2017年12月31日の間に、当院において肺癌と診断され手術を受けられた患者さんについて、「腫瘍存在位置」と「微小免疫腫瘍環境」との間に相違があるかどうかを検討するための後方視的調査研究を実施します。昨年度、新しい抗がん剤として免疫チェックポイント阻害薬が認可されましたが、現時点では腫瘍細胞のPD-L1が効果を予測できるとされています。

研究期間は、2018年5月14日～2020年3月31日の予定です。

本研究の目的は、今後肺癌と診断された患者さんに対して、免疫チェックポイント阻害薬の治療法に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は診療録データ（年齢、性別、喫煙指数、CT画像、FDG-PET画像、予後）および手術で摘出した組織を「免疫染色」によって評価する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究は教員研究費を用いて行う研究であり、この研究を実施する関係者には小野薬品工業株式会社より奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

**【問い合わせ先】**

担当者：所属 呼吸器外科学 職名 准教授 氏名 清水克彦

TEL：086-462-1111（内線25519）

FAX：086-464-1124

E-mail：：gts@med.kawasaki-m.ac.jp